

# 2021年5月9日第2主日

Chofu Christ Church

## 礼拝式次第

注) 賛美の最後の頌栄以外のアーメンは省く

前奏		
頌栄	新聖歌 60	起立
使徒信条	司会者朗読	起立
主の祈り	司会者朗読	起立
開会祈禱		
賛美	新聖歌 414	
交読	省略	
今月の賛美	省略	
今週の聖句	省略	
聖書	Iサムエル15:17-26 (p404)	
説教	「悔いる心、従う心」 園 謙慈 牧師	
一斉祈禱		
献金	新聖歌 251	
感謝祈禱		
頌栄	新聖歌 63	起立
祝禱		起立
後奏		起立
報告		

## 今週の聖句

《神への聴従は犠牲にもまさる》  
「主はそのみ言葉に聞き従う事を喜ばれるように、燔祭や犠牲を喜ばれるであろうか。見よ、従うことは犠牲にまさり、聞くことは雄羊の脂肪にまさる。」

Iサムエル15章22節

- 本日の礼拝後の予定
- 今週の予定
  - ◎聖書通読 10日(月)ー16日(日)
    - IIサムエル24-I列王6章
- ※教会総会資料印刷発送
  - 12日(水) 13:30
- 祈禱会 13日(木) 休会

## 礼拝式説教要約【独善偏見に満ちた思考】サムエル記上14:24~46

今回の戦は、サウルの息子ヨナタンの勇敢な行動に端を発していた(1-2)。

ヨナタンと従者は、急な崖を登って敵陣に乗り込んだ。人数的にも、地形的にも不利な戦い…主に信頼し20人を撃ち殺した。この結果はペリシテ陣営に大きな不安を与え、その機に乗じてサウルとイスラエル軍が優勢に戦いを進めた。サウル王は恐怖と独り善がりですべてを率いた。敵軍を討伐中、命令を破った者がいるとサウル王が気づき、それが自分の息子ヨナタンであることが分かった。サウル王は処罰を行おうとしたが、勝利のきっかけを作った立役者ヨナタンを部下たちが必死でかばったので、処罰は行われなかった。「夕方、私が敵に復讐するまで、食物を食べる者はのろわれる」と、サウルは兵士らに命令を出し誓わせた。理性を失い部下のことを考えていなかった。サウルの命令は、①感情的で合理性なし、②命令に従うこと自体が苦しい、③違反すると処罰を受ける、というもの。ヨナタンは「父はこの国を悩ませている。私の目はこんなに輝いている」。ヨナタンは、森で見つけた蜂蜜を口にして力を得ていたため、父の命令が間違っていると分かった。空腹になったイスラエルの民らは、律法に反して羊や牛を血を抜かないまま食べてしまった。独り善がりが行き過ぎると、耐えてきた人々を暴発させ、愚かな行為に走らせてしまう。このサウルの姿からあなた自身を点検しよう。律法を破った兵士たちがいた時、サウルは反省すべきであった。自分が悪かった。独り善がりですべてを人々に罪を犯させた。

サウルは、「食べるな」でなく、「良くやったもつと食べろ」と言えばよかった。個人的復讐心を捨て、戦いの意義を説明すべきであった。家族と国土を神の栄光のために守るのだ、と言うなら、兵士らの賛同を得たであろう。「小人数によるのもであっても、主がお救いになるのに妨げとなるものは何もない」(6節)。

◎独り善がりな点があるのではないかと、自己点検しよう。そして、私たちはその反省の上にならなくて、肯定的未来計画設計図を描く人になりたい。

- 来週のメッセージ
  - 【聖書】 Iサムエル16:1-13 (p405)
  - 【主題】 「神は人の心を見る」
  - 【説教】 園 謙慈 牧師
  - 【新聖歌】 419 200

- 5/16日(日)の予定
  - 主日祈禱 10:00 賛美4曲
  - 主日礼拝式 11:00 (礼拝録音のための自主礼拝)